

2023 年 9 月 27 日
シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役
渋谷 健

第 2 2 回「新しい資本主義実現会議」コメント

1. グローバルヘルスにおけるインパクト投資

◎新しい資本主義の「個別分野の取組」として記載されたグローバルヘルス分野への民間資金の呼び込みに向けた投資インパクトの可視化は、Triple I (Impact Investment Initiative) for Global Health として G7 広島サミットで承認され、先週にニューヨークで開催された国連総会サイドイベントで正式に発足した。岸田総理が自ら出席され、激励のメッセージをいただけたことに深く御礼を申し上げる。

◎インパクト投資を通じてグローバルヘルスを新しい成長産業として促す Triple I を、内閣官房の働きかけにより、内外の投資家・企業を含むステークホルダーとの官民連携として日本から世界へ向けて発足できたことは、総理がスピーチで示されたように新しい資本主義のグローバルな展開である。37社で構成する Founding Partner に数多くの日本企業・投資家が参画した。

◎Triple I を起動に乗せ、2025 年の G7 議長国になるカナダにタスキを渡せる様、政府の更なる支援を引き続きお願いしたい。 <https://tripleiforgh.org/#about>

2. 人への投資・構造的な賃上げと円資産の底上げ

◎コロナ禍を経て 3 年ぶりの今年はニューヨークへ二回出張しているが、現地の物価（特に円換算で）の高さに驚いている。日本人への投資を通じて構造的な賃上げは急務である。昭和時代の成功体験の延長線上では日本人が相対的に貧しくなるだけではないか。この傾向を反転するための重要事項は三位一体の労働市場改革の基本方針として示してある。法的措置も含め、実行に期待したい。

◎現在の円安基調が継続するようでは、資産運用立国の資産配分は国外に重きを置くことが合理的になり、国民の円資産の価値が相対的に棄損し続ける。財政・金融政策は本実現会議の検討事項ではないことは承知しているが、為替市場はシビアに現状を見ていることを踏まえ、経済財政諮問会議等で討議をお願いしたい。